

102-248

問題文

処方2の作用機序に関する記述として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. アドレナリン β_1 受容体を選択的に遮断することにより、心拍出量を減少させる。
2. エンドセリンET_A 受容体を選択的に遮断することにより、血管平滑筋を弛緩させる。
3. アドレナリン α_1 受容体を選択的に遮断することにより、血管平滑筋を弛緩させる。
4. 中枢性のアドレナリン α_2 受容体を刺激することにより、交感神経活性を低下させる。
5. ドパミンに変換されてドパミンD₂ 受容体を刺激することにより、交感神経活性を低下させる。

解答

問248 : 3, 5問249 : 4

解説

問248

問249 とまとめて解説します。

問249

切迫早産に対し、 β_2 作動薬で子宮収縮抑制作用を持つリトドリンが、高血圧に対して、 α_2 受容体を刺激する 中枢性降圧薬であるメチルドパがそれぞれ処方されています。

リトドリンの代表的な副作用の1つが高血糖です。妊娠高血糖の状態では使用がだめな薬です。メチルドパが降圧薬なので下げすぎた際の「起立性低血圧」が可能性の高い副作用と考えられます。冒頭の通りメチルドパは、「 α_2 受容体刺激薬」です。

ちなみに、問249の他の選択肢ですが

- 1 : β_1 選択的遮断薬といえばピソプロロール（メインテート）などです。
- 2 : ETA 遮断といえば、肺動脈性肺高血圧症に用いられるアンブリセンタン（ヴォリブリス）です。
- 3 : α_1 選択的遮断薬といえば、ドキサゾシン（カルデナリン）などです。
- 5 : ドパミンに変換されて といえばレボドパです。

以上より、問248の正解は 3,5
問249の正解は 4 です。